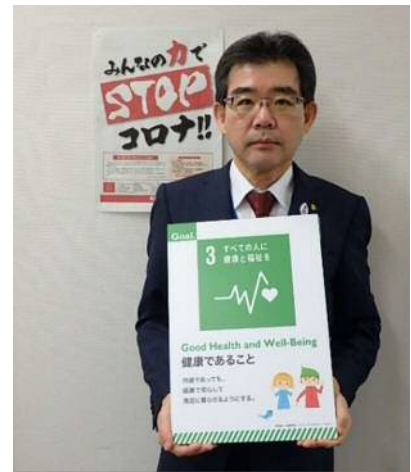


令和3（2021）年度 部局マネジメント方針

健康部長

しまおか まさゆき
島岡 正之



私の決意（仕事に対する基本姿勢及び部局の取り組み方針）

新型コロナウイルス感染症に罹患された方、ご家族の皆様には心からお見舞いを申し上げます。また、医療現場で新型コロナウイルスに対峙されておられる関係者の皆様には心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症は本年3月以降これまでにない大きな波として到来し、医療体制のひっ迫となって3度目の緊急事態宣言が発出されるなど市民生活に大きな影響を及ぼしています。一方で、いよいよ4月から新型コロナウイルスワクチン接種が高齢者から始まりました。市民の皆様にも一日でも早く、そして、安全に接種いただけるようスピード感と使命感を持って事業を進めてまいります。そのためにも医師会・市立東大阪医療センター等の市内医療機関、関係機関と更に緊密に連携を図り、新型コロナウイルス感染症対策の強化・拡充を進めてまいります。市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

妊娠・出産・育児といった人生の中でも重大なライフイベントを迎えておられる皆様は、この新型コロナウイルス流行下において、より大きな不安を抱えておられると思います。妊婦健康診査受診回数の拡充やアウトリーチ型産後ケア事業の新規実施など、安心して妊娠・出産・育児をしていただくために必要な支援を行ってまいります。

テレワークの導入等の新しい生活様式の開始、外出自粛に伴う日々の運動量の減少や各種検診の受診控えにより、生活習慣病の誘発や病気の早期発見が困難な状況となることが懸念されています。そこで、市民の皆様ライフスタイルに沿った健康づくり活動の習慣化を図ることができる仕組みづくりの構築に取り組んでまいります。また、がん検診等の検診をより身近で、手軽に受けさせていただくことができるような取り組みも合わせて行い、がん検診等の受診率の向上に努めてまいります。

いつもの生活がこれからも変わりなく続き、そしてより良いものとなるよう、SDGsの目標3に掲げられている【あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する】の目標達成も見据えながら、私たちは多様な専門職員の職能を存分に発揮させることで健康づくりと保健衛生の推進を図り「健康に生活できるまちづくり」を進めてまいります。